

新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型TYPE1）

事業名	公共施設の手続オンライン化事業								
交付金予算年度	令和6年度補正予算								
担当課	DX推進課								
事業概要	公共施設の予約方法が利用者に手続きやそれに係る時間において負担がかかるものとなっているため、公共施設予約手続のオンライン化を図り、利便性向上を図る。24/365いつでもどこでも施設利用がしやすい仕組みを構築し、公共施設への移動時間や申請にかかる負担等を軽減するとともに、施設管理者の負担軽減を図ることで持続可能な公共施設の管理・運営に取り組む。								
総事業費（千円）	6,956								
交付金充当額（千円）	3,478								
活動指標 （アウトプット指標）	KPI（重要業績評価指標）	単位	目標値			実績値			評価
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	予約システム利用割合	%	5	15	20	26.4			順調
	施設利用料におけるキャッシュレス決済の利用割合	%	5	10	15	17.8			順調
成果指標 （アウトカム指標）	KPI（重要業績評価指標）	単位	目標値			実績値			評価
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	利用者の満足度	5段階評価	3	4	5	3.8			順調
令和7年度の取組内容	令和7年10月1日から「ひろしま・やまぐち公共施設予約サービス」を導入し、施設の空き状況の照会、施設予約・キャッシュレス決済など公共施設の利用手続のオンライン化を実施した。また、サービス開始にあたっては、市の広報媒体（市公式アプリ・HP・広報誌等）により周知を行ったほか、施設での広報文書（サービス内容・利用マニュアル等）の配布や予約操作支援等を行い、普及を図った。								
実績値を踏まえた今後の取組	利用率は施設ごとに分解すると、利用率1%未満と低調な施設もあるため、施設における伸び悩み要因を把握・分析し、課題として改善することで、利用率の向上を図る。 利用者の満足度アンケートで不満・不便とご意見いただいた箇所について、見直しを実施する。システム側の改修が必要となる事案については、システム運営者に共有し、改善を要望する。								